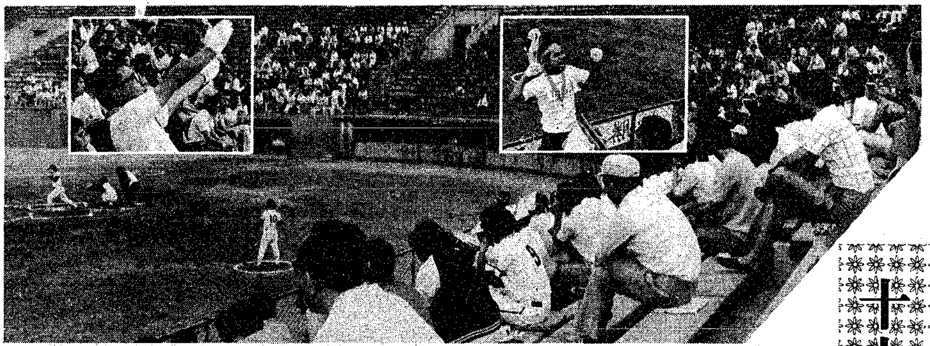

昨年行われた、優勝チーム「ラインマンズ」と「から津」の決勝戦

十六日から開幕

早起き野球

632チームのマンモス大会

全国一・二をあらそう新潟市のマンモス早起き野球大会が、五月十六日、その幕を開けます。六百三十二チームが、職域対抗の部とクラブ対抗の部に分かれ、市内十二会場で、七月頃まで熱戦をくりひろげます。

早起き野球大会が、今月十六日から始まります。今年は第十一回目。十回という節を終えたので、今年は少し装いを変え、職域対抗の部とクラブ対抗の部に分けました。

早起き野球大会の参加チームは、第一回の五十九から年々増え続け、今年は昨年に百五十四を加え、六百三十二チームにものぼりました。

体育課の担当者の話では「正確な数字がつかめないのですが、今年は六百三十を越えましたので、全国一の規模になったはずです」とのこと。

昨年から参加したという税務署の**渡部**一さんは「ウチも若いのが増えたので参加してみたのですが、惜しいところで負けました。今年は職域対抗になりましたから、ぜひ一回戦は勝とうと狙っています」。

職域対抗の方に特に人気が集まり、四百一チーム。レベルを気にせず、気軽に参加しようという気運が高まったようです。

クラブチームの参加も昨年より四十チームほど増え二百三十一になりました。

一チーム二十人の登録ですので、少く見積っても一万人近くの人が参加することになります。

職域対抗は八ブロック、クラブ対抗は四ブロックに分け、鳥屋野野球場を中心に、市内十二会場で熱戦を繰り広げます。早ければ六月一ぱいにはブロック優勝が決まる予定。

参加しなくとも、朝の散歩がてら、観戦を楽しむ人も増えています。一般の皆さんも、大会を盛り上げるために、ご声援を。

善意の寄付

～福祉のために～

次の方々から、善意の寄付をいただきました。どうもありがとうございます。

▼鳥屋野地区第二民生委員協議会▼田村六男（寺尾）▼高橋明美（浦山二）▼新潟市社会事業協会（理事長高橋助七）▼㈱司商事▼富岡博、啓子（上大川前通）▼白山神社

交通遺児のために

▼㈱はとタクシー▼益田登志子（米山二）▼野上キミ（山木戸）▼新潟交通シルバーボウル有志一同

新潟市政

―現状と課題―

―③―

"総量規制"実施へ

規制・対策二課に専門分化

市民の健康と安全を守るという課題は新潟市政の上でも大きな比重を占めます。

中でも公害対策には特に重点を置き、今年度から公害課を公害規制課と公害対策課に専門分化させて、公害に対処します。

新潟市が本格的に公害に対処し始めたのは、昭和四十四年に公害課を発足させてからといえます。

公害

その後、公害防止条例の制定、各企業との公害防止協定と細目協定の締結を行い、また、機器整備も年々充実させ、昨年度は、大気汚染に対するテレメーター（常時監視体系）化を行いました。

今後の市の公害行政の進め方は①汚染物質の総量削減をはかる②汚染を予測し、その未然防止をはかる③市民の公害に対する苦情を解決する―に要約されます。

今年二月に、国から、第六次公害防止計画策定地域に指定されました。

この計画では、今まで公害課を中心に行ってきた大気汚染、水質汚染、騒音、悪臭などの対策のほかに、地盤沈下対策、下水道、ごみ・し尿処理、都市公園まで含み、衛生部、建設局、農林水産部が調整をとりつつ、対処することになります。

そして、規制の考え方のバックボーンとして総量削減があります。

これは、各々の有害物質などについて、人の健康に害を与えない限度を計算し、各企業ごとに排出のわくを割り当てる方式で、今まで以上に厳しさが要求されます。

そして、その割り当てが常に守られているか否かを明確にチェックするものとして、発生源に対するテレメーター化を図ります。これは、有害物質の発生源に直接、測定器を設置するもので、公害規制の決め手とも言えます。

総量規制は、具体的には、細目協定の改訂（今年度中の予定）で盛り込まれます。また、発生源テレメーター化は今年度中に取り決めを行い、来年度には実施に移したい考えです。

どちらも、企業の協力を必要とし、多額の負担もかけるものですが、市民の健康と安全を守るという観点で、強く公害行政を進めます。

大気汚染の予測は、テレメーター化で今年からある程度可能になっています。今年度は、各観測局の測定機器を充実させ、自動車の排気ガス測定も行うことで、より正確な測定を目指します。

市民の公害に対する苦情についても、公害対策課に窓口を設けます。そして関係機関と調整をとりつつ解決にあたります。

意見や提言を広報課へ

このシリーズに関する意見や提言、要望などを募集しています。

送り先は、新潟市役所市民企画部広報課（西堀通六、〒九五一）です。

矢印は、市役所に設置されている大気汚染監視用標示板

自家用天然ガスの自主規制を！

燃料転換に2万円（最高限度額）を補助

新潟平野の地盤沈下は、わずかながら依然として続いています。

国、県、市でも、いろいろ対策を講じていますが、自家用天然ガスを使用している皆さんのご協力が必要です。

新潟市を地盤沈下から守るために、一日も早く天然ガスの採取をやめて、他の燃料に切り替えましょう。

このため市では、ガス採取をやめて、他の燃料に切り替えた人に、この切り替えに要した費用の一部を助成しています。

助成を受けられる人　「新潟市自家用天然ガス規制条例」の規定により、すでに市に届け出をしている人で天然ガス採取をやめた人。

助成する額　一戸当りの燃料転換に要した費用の三分の二。（限度額二万円）

詳しくは市公害対策課へ

祭日も開館しま～す

新潟市郷土資料館

今年度は、11月いっぱいまで、祭日も開館します。
ただし、今月6日（木）は臨時休館させていただきます。

安産教室

対象　妊婦（妊娠6～7か月）
持参品　母子手帳、筆記用具、体操できる服装

西保健所管内　20人

第1回	5月20日	午前9時半～正午
第2回	未定	未定

東保健所管内　50人

第1回	5月12日	午後1時半～4時
第2回	7月28日	午後1時半～4時

申し込み　電話で各保健所母子保健係へ

婚前学級

日時　5月12日、20日　午後6時～
会場　中央公民館4階
申し込み　5月10日まで西保健所母子保健係へ電話で（先着80人まで）

健康相談

日時　5月6日　午後1時～3時
対象　坂井輪地区
会場　福祉会館（小針自由ケ丘）

妊婦貧血講習会

日時　5月10日　午後1時半～3時半
会場　西保健所

栄養教室

対象　婦人
会場　東西各保健所
時間はいずれも午前10時～正午
日程
西保健所　（定員60人）
5月18日～10月19日までの火曜日10回
東保健所　（定員50人）
5月20日～10月21日までの毎月第1、第3木曜日10回
申し込み　電話で東西保健所指導普及係へ

東消防署の電話番号変更

東消防署の移転新築に伴って電話番号が変更になりました。

新番号は(75)9111番(代)です。

自然に親しむ親子のつどい

日時　6月5日午後3時出発
6月6日午後4時解散
場所　県スポーツハウス（北蒲原郡黒川村胎内）
対象　小学校4年生から中学校3年生までと父兄の方。先着100人まで
内容　5日、キャンプファイヤー、フォークダンス、緑化教室
6日、探鳥会、オリエンテーリング　わらびとり、育苗作業
費用　2,000円、父兄は3,000円
申し込み　5月20日まで青年会議所事務局（上大川前通7、商工会議所内　☎(29)0874）へ